



みやぎ元気人 防災マップ作成に取り組む女川町大沢地区の皆さん

特集 **明日来るかもしれない「大地震」に備える**
 ~自分たちの家族や地域は自分たちで守る~



あやめ草 足に結ん草鞋の緒 塩竈街道

発行 宮城県総務部広報課 〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号 TEL:022(211)2111(内線2203) URL: http://www.pref.miyagi.jp/kohou/ 印刷 仙台印刷工業団地協同組合

第33回 **子ども県政だより**
 いろんなぎもんをナンダロウちゃんとハテナちゃんが楽しく解決!

もう一度確かめよう! 「わが家の地震対策」

ナンダロウくん: 避難訓練のときに、先生が、お家でも地震が起きたときの準備をしておくように言ってたね。

ハテナちゃん: 帰ったら、さっそくお家の人と話し合ってみよう。

家族で確かめ合うこと

- 1 家の中で一番安全な場所は?
- 2 避難場所・避難経路は?
- 3 いざというとき、だれが何を持ち出しますか?
- 4 仕事や学校で家族がそろっていないときの連絡方法や集合場所、役割分担は?

これだけは備えておこう

- 1 靴・厚底のスリッパ
- 2 懐中電灯、携帯ラジオ
- 3 水・食料
- 4 医薬品
- 5 衣類、タオル、毛布
- 6 貴重品

いざというときの準備って意外とできていないんだね。

でも今回きちんと準備したから、あわてずに行動できるね。

このほか、家具の転倒防止などの対策も考えましょう。

問 危機対策課
 ☎022(211)2376

家庭や地域での震災対策

スマトラ沖大地震での津波被害は、すさまじいものでした。被害の大きさにも驚かされますが、大きな地震の後には津波が押し寄せてくるかもしれないということを、全く意識しない住民の姿もショックでした。

アメリカで「トーネード(竜巻)」と聞けば、とっさに地下に避難します。日本で「竜巻」と言われても、避難するほどの反応は考えられません。スマトラ沖大地震では、津波に関して、これと同じことが起きたのです。

津波についての知識の不足が、被害を拡大したと言えます。災害に関しても、知識は力なのです。津波が予想されるときは、どこに逃げるべきかも重要な知識です。緊急輸送路、広域避難所に関する情報を知っていれば、災害発生直後には役に立ちます。

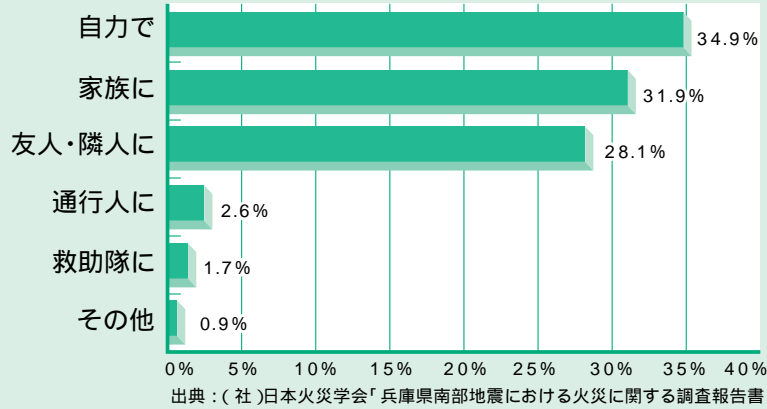
こういった情報を地図上に落とし込んだものが防災マップですが、これは知識、情報の詰まったものです。災害発生の際に、自力で避難がむずかしいお年寄りや障害者の居所も防災マップに示されていれば、救助の手も差し伸べやすくなります。

防災マップを作成する過程で、災害への備えが不十分なところはどこなのか明らかになります。力を合わせてマップを作る作業をすることで、防災に関して、地域としての団結力が強まるでしょう。

災害への備えは、行政だけでなく、地域ごとに、そして家庭でもやることはたくさんあります。地震の発生は防げませんが、そういった備えによって、被害を最小限にすることはできます。家庭でもできる震災対策。早速今日からとりかかるとにしましょう。

宮城県知事 浅野史郎

生き埋めや閉じ込められた際の救助



明日来るかもしれない 大地震に備える

～自分たちの家族や地域は自分たちで守る～



近年、各地で大きな地震が起きています。昨年の「新潟県中越地震」や「スマトラ沖大地震」、今年の「福岡県西方沖地震」など、日本や世界各地で地震や津波などによる大きな被害が立て続けに発生しています。

宮城県でも、平成十五年に発生した「三陸南地震」や「宮城県北部連続地震」などの記憶が新しいところですが、私たちは、近い将来非常に高い確率で発生することが予想されている宮城県沖地震に、どう対応すれば良いのでしょうか。

「まだまだ先の話」ではありません

国の地震調査研究推進本部の発表によると、宮城県沖地震が発生する確率は十年以内に五十%程度、二十年以内に九十%程度とされています。

昭和五十三年に宮城県沖地震が発生してから今年で二十七年が経過します。過去の宮城県沖地震の発生状況を見ると、短で二十六年の間隔で発生したこともあり、すでにいつ地震が起きてもおかしくない状況にあるといえます。

過去の宮城県沖地震

地震発生年	前回の地震からの経過年数	地震規模
1793年	—	M8.2程度
1835年	42.4年	M7.3程度
1861年	26.3年	M7.4程度
1897年	35.3年	M7.4
1936年 (昭和11年)	39.7年	M7.5
1978年 (昭和53年)	41.6年	M7.4

その時、あなたは

それでは宮城県沖地震のような大きな地震が発生した場合、どのような事態が想定されるのでしょうか。

平成七年の阪神・淡路大震災では多くの建物が倒壊し火災も発生しました。また道路や電話、電気、水道などのライフラインも一斉に使用できなくなりました。

「このような状況で消防や行政の活動も大きく制限され、思うような救助活動ができませんでした。」

ある調査によれば、救助された人の約九十五%は自力または家族や隣人によって救助されたと報告されています。

阪神・淡路大震災に学ぶ 「自助」と「共助」

阪神・淡路大震災の教訓として「自助」(自分)のことは自分で守る、「共助」(自分たちの地域は自分たちで守る)の重要性が改めて指摘されています。

それぞれの家庭で家具などの転倒防止や食料品などを備蓄をする「自助」。

自分たちの住む地域で、初期消火や災害情報の収集、被災者の救出や避難誘導などを行う「共助」。

「いつ、どこで、いつ時、冷静な判断や行動ができるか?」は、普段から「自助」や「共助」の意識をもつて災害に備えているかどうかで大きく異なります。

「共助」

「被害を最小限に抑えるために」地震の発生そのものを抑えることはできません。しかし、私たちの備え次第でその被害を小さくすることはできます。

将来、高い確率で大地震が起きると予想されている宮城県。その宮城県に住む私たちにとって、「自分」のことは自分で守る、「いつ、どこで」の備えは、もはや当然の約束事といえます。

さらには、被害を最小限に抑えるための「共助」、つまり、地域で取り組む防災活動が大変重要になっています。

宮城県大連事務所オープン ～東アジアへの架け橋に～

県内経済の活性化にとって魅力ある「大連市」
仙台市とほぼ同緯度にある中国大連市は、仙台空港と約2時間半の直行便で結ばれるなどアクセスにも恵まれ、今後大きな発展が見込まれる工業都市として、多くの日本企業が進出しています。

経済成長が続く中国は、県内企業にとっても魅力的なマーケットです。県では政策の柱として、中国を中心とした東アジアの経済成長を活用した県内経済の活性化を掲げ、積極的に取り組んでいます。



経済発展が著しい大連市

岩手県・山形県との連携を強化
県では、この4月、2番目の海外事務所を中国大連市に岩手県と共同で設置しました。

このことにより、中国の東北地方などでビジネスを展開しようとする県内企業の支援や中国からの観光・ビジネス客などの誘致を効果的に行うことができます。

また、岩手県との共同設置というメリットを生かし、両県が連携して事業を実施することにより大きな効果が期待できるほか、費用面でも効率化が図られます。

平成4年に設置した韓国の宮城県ソウル事務所も、4月から山形県との共同事務所とし、観光客の誘致や企業の販路開拓支援などで山形県と連携・協調して韓国との経済交流を推進することになりました。

今後、両事務所を通じて宮城県と中国、韓国を始めとする東アジアとの経済交流を一層進め、県内経済の活性化を図ることとしています。

お問い合わせ

国際経済課 ☎022(263)2132
http://www.pref.miyagi.jp/gb/

みんな集まれ！「技術のおもちゃ箱」

県産業技術総合センターでは、産業技術の楽しさやおもしろさを県民の皆さんに分かりやすく紹介する一般公開「技術のおもちゃ箱」を開催します。今回で3回目の開催で、昨年も2日間で1,000人を超える参加者が集まる人気イベントとなっています。

当日は、普段なかなか見ることができない工業製品や加工食品などをつくる産業技術を、センター内にあるさまざまな機械や設備を使って、分かりやすく実演紹介します。

プラスチック製品の作り方の実演コーナー、小学生を対象としたベーゴマづくり体験教室、スタンプラリーによる記念品プレゼントなど、モノづくりの楽しさに触れながら、産業技術を身近に体感できるさまざまな企画が目白押しです。

皆様のご来場を心からお待ちしています。



子どもたちも興味津々

日時 / 6月24日(金)、25日(土)
午前10時から午後4時(午後3時受付終了)まで
場所 / 宮城県産業技術総合センター
仙台市泉区明通二丁目2番地(宮城大学向かい)
参加費 / 無料
同時開催 / 県が認定したリサイクル製品や支援企業の研究成果の展示など



お問い合わせ

県産業技術総合センター ☎022(377)8700
http://www.mit.pref.miyagi.jp/

「この地域は、何となく知ってる」という方も多いと思いますが、「いつの間にか」という時は、「何となく」では本当の力は足りません。

「支援を必要とする人」災害が起きた場合、支援が必要なりひとり暮らしの老人や障害のある人などを確認する。

「身近にある危険箇所」災害が起きた場合、どこでどのような被害が起きているのかを確認する津波、ブロック塀の倒壊、土砂災害、洪水など。

「改めて確認してみよう、私たちの住んでいるまち」地域での防災活動を進める上で大切なことは、まず自分たちの住んでいる地域をよく知り、みんなでその情報を共有することです。

「みんなで作る防災マップ」地域で情報を共有する上で非常に有効なのが、避難場所や危険箇所などのさまざまな情報を地図上に示した「防災マップ」です。県では、地域での防災活動を促進するため、名取市亘理町、女川町の三カ所で住民参加型防災マップ作成支援モデル事業を実施しました。今後、各地域で実施した防災マップ作成事例を、冊子などで皆さんにお知らせする予定です。



ブロック塀が倒れたら...

がけが崩れてくるかも...

災害発生時のイメージを地域で共有する

東北大学大学院工学研究科付属
災害制御研究センター長 今村 文彦教授



「近い将来」ではなく「今すぐ来る」という意識で対策を

大沢地区は、役場から四キロメートル、消防署からも四キロメートル離れています。ですから、「いざ」という時には救助を待つというよりも、「自分たちで自分たちの身を守る」という気持ちが必要です。

今回、地区の皆さんの協力を得て、「防災マップ」作りに取り組みました。普段は車ではかなり通り過ぎていたので、地域にある大切な施設なども見落としていたことに気が付きました。やはり、実際に歩いてみて、初めて分かることも多かったため、改めて歩いてみて本当に良かったと思っています。

このマップを作成したことで、

「防災マップ」作りは、分かっているようで意外と分かっていない自分たちの地域を、防災という観点から改めて再発見するという意味で、非常にすばらしい取り組みです。ぜひ多くの地域で取り組んでいただきたいですね。

よく、大地震が近い将来発生する、といわれますが、「今すぐ来る」という意識を持って、訓練や対策をおくべきだと思います。

各家庭での災害への備えはもちろん必要ですが、被害が広範囲に及ぶような大規模な災害ほど、地域での取り組みや協力が必要不可欠になります。

「いざ」という時、何をどうしたらいいのか、そのイメージをきちんとしておくことが大切で、それが被害を小さくするのに役立ちます。

特に、防災マップ作りなどの取り組みは、地域で「いざ」という時のイメージを共有することができるので非常に有効です。地図なので、子どもからお年寄りまで誰でも分かりやすいですし、自宅や危険箇所、海岸までの経路・距離などを間違えずに理解

「防災マップ」作りは、分かっているようで意外と分かっていない自分たちの地域を、防災という観点から改めて再発見するという意味で、非常にすばらしい取り組みです。ぜひ多くの地域で取り組んでいただきたいですね。

よく、大地震が近い将来発生する、といわれますが、「今すぐ来る」という意識を持って、訓練や対策をおくべきだと思います。

各家庭での災害への備えはもちろん必要ですが、被害が広範囲に及ぶような大規模な災害ほど、地域での取り組みや協力が必要不可欠になります。

「いざ」という時、何をどうしたらいいのか、そのイメージをきちんとしておくことが大切で、それが被害を小さくするのに役立ちます。

特に、防災マップ作りなどの取り組みは、地域で「いざ」という時のイメージを共有することができるので非常に有効です。地図なので、子どもからお年寄りまで誰でも分かりやすいですし、自宅や危険箇所、海岸までの経路・距離などを間違えずに理解

「近い将来」ではなく「今すぐ来る」という意識で対策を

女川町大沢区 行政区長
阿部 國治さん



「近い将来」ではなく「今すぐ来る」という意識で対策を

大沢地区は、役場から四キロメートル、消防署からも四キロメートル離れています。ですから、「いざ」という時には救助を待つというよりも、「自分たちで自分たちの身を守る」という気持ちが必要です。

今回、地区の皆さんの協力を得て、「防災マップ」作りに取り組みました。普段は車ではかなり通り過ぎていたので、地域にある大切な施設なども見落としていたことに気が付きました。やはり、実際に歩いてみて、初めて分かることも多かったため、改めて歩いてみて本当に良かったと思っています。

このマップを作成したことで、

「防災マップ」作りは、分かっているようで意外と分かっていない自分たちの地域を、防災という観点から改めて再発見するという意味で、非常にすばらしい取り組みです。ぜひ多くの地域で取り組んでいただきたいですね。

よく、大地震が近い将来発生する、といわれますが、「今すぐ来る」という意識を持って、訓練や対策をおくべきだと思います。

各家庭での災害への備えはもちろん必要ですが、被害が広範囲に及ぶような大規模な災害ほど、地域での取り組みや協力が必要不可欠になります。

「いざ」という時、何をどうしたらいいのか、そのイメージをきちんとしておくことが大切で、それが被害を小さくするのに役立ちます。

特に、防災マップ作りなどの取り組みは、地域で「いざ」という時のイメージを共有することができるので非常に有効です。地図なので、子どもからお年寄りまで誰でも分かりやすいですし、自宅や危険箇所、海岸までの経路・距離などを間違えずに理解

「ダメ!ゼツタイ!!」

薬物乱用は悲惨な結末を招きます

覚せい剤などの薬物の乱用は、暴力団関係者などに限られた問題だと思っていないか。最近の調査では、一般市民の間に広く浸透してきていることが明らかになっています。県では、薬物乱用を未然に防止し、県民が健康で健全な生活を送ることができるよう、「宮城県薬物乱用防止戦略」を策定しました。今回は、薬物乱用の危険性や県が策定した戦略の概要を中心にご紹介します。

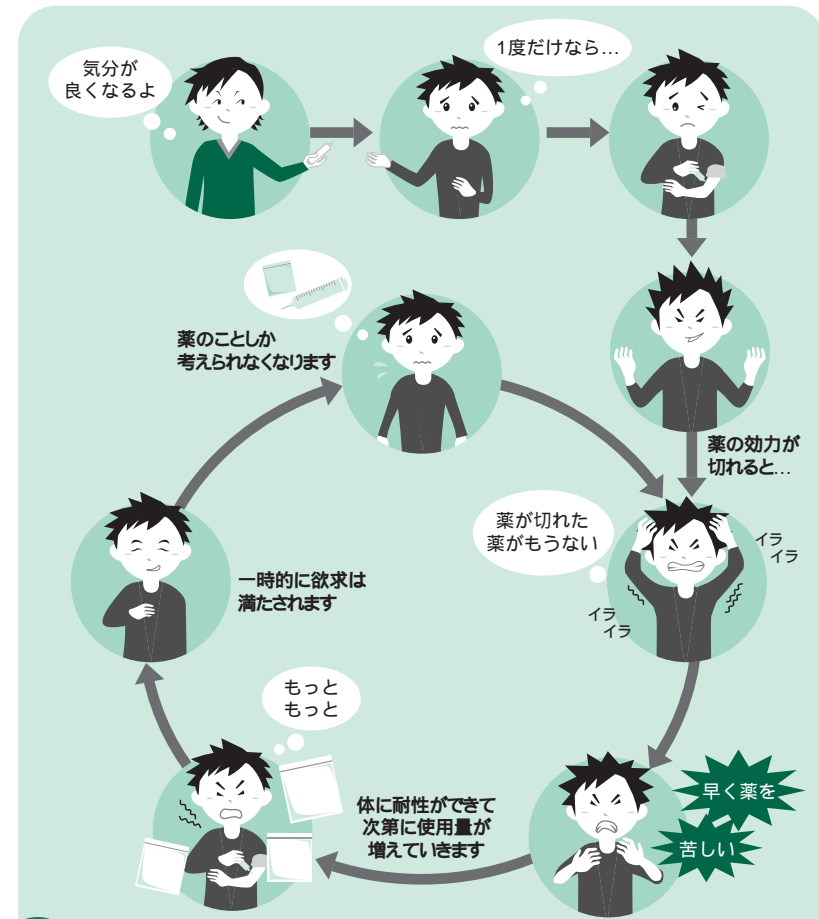


図1 「1度だけ」では終わらない薬物依存の悪循環

薬物乱用の悲惨な結末

乱用される薬物は本来、病気の治療などのために使われるものです。しかし、快楽目的など、誤った使い方をすると、それらの薬物の多くには依存性があるため、自分の意志でやめることが困難になります。薬物の効果が切れると、また薬物が欲しくなり、その欲求は次第に高まり、ついには薬物依存症になってしまいます(図1)。薬物を使い続けると、脳や神経が傷つき、幻覚や妄想などの症状が現れます。ときには、殺人や放火などの犯罪を誘

発し、家族や周囲の人々を危険に巻き込むこともあります。

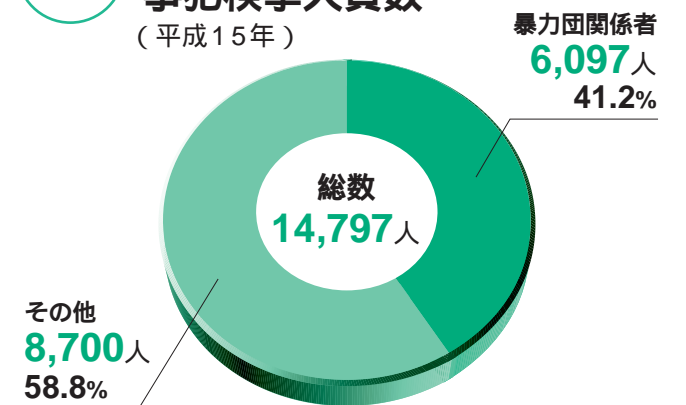
県民と一体となり薬物乱用を防止

薬物乱用を根絶するためには、行政企業・民間団体、県民などが一体となって対策を講じることが必要です。県では、各種対策を総合的に推進していくため、「宮城県薬物乱用防止戦略」を策定しました。この戦略では、次の四つの基本目標を掲げ、各種施策を展開していく

国内での覚せい剤事犯検挙人員数

(平成15年)

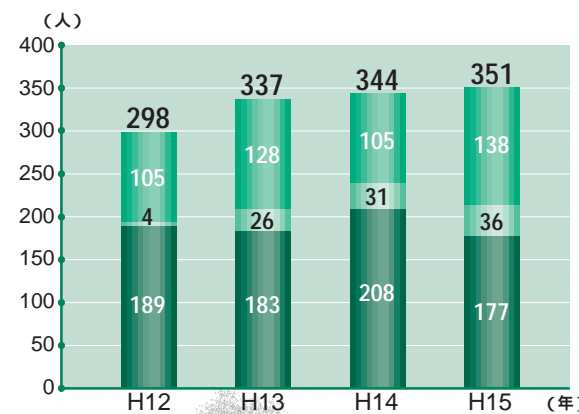
グラフ2



県内での薬物別事犯検挙人員数

覚せい剤 ■ 大麻・麻薬・不正けし ■ シンナー・トルエン ■

グラフ1



心の隙間を狙う「寂しさの病」

「アロ一萌木」は、薬物やアルコールへの依存、摂食障害、異性問題などの悩みを抱えた女性の社会復帰を支援する施設です。ここでは、相談業務や生活支援を行ったり、専門病院やカウンセラーを紹介したりするほか、時には病院へ同行することもあります。

薬物乱用には、家庭環境や人間関係、本人の心の問題など、さまざまな問題が絡んでいて複雑です。そのため、悩みや症状も十人十色で、人によって異なった対応が求められます。

薬物依存症は、「寂しさの病」とも言われています。心の中に薬物に頼ろうとする「何か」があるから、手を出してしまふのです。それは、孤独感、将来に対する不安、受検や仕事のプレッシャー、劣等感など、人によって違います。心の中にちょっとした隙間があれば、だれでも薬物の



アロ一萌木 施設長 佐竹節子さん

誘惑に負けてしまうおそれがあるのです。普段まじめに振る舞っていた子どもが薬物に手を出したケースを何度も見してきました。親が子どもに枠をはめて、その枠からはみ出すことを認めない「過干渉」のケースもあります。親自身が満ち足りていないため、子どもに過度な要求をしてしまい、その結果、子どもが疎外感を感じて薬物に手を出してしまうのです。

薬物依存症は、いずれ死に至る病気です。家族や友人が薬物を乱用しているのを世間体を気にして隠すことがありますが、これはよくありません。薬物の問題を自分や周囲の人たちだけで解決するのは困難です。行政の相談窓口や専門の病院、私たちのような施設にすぐに相談してください。

間近に忍び寄る薬物乱用

近年、携帯電話やインターネットなどの普及により、密売の手法が巧妙化し、一般市民でも簡単に薬物を手に入れやすくなっています。

県内での薬物乱用者数は増加傾向にあり、徐々に一般市民層へと広がっています(グラフ1)。特に、若者や女性たちの間で、ファッション感覚や手軽にやせられるといった安易な気持ちから薬物に手を出すケースが増えています。

また、最近では、覚せい剤のほかに、MDMA(錠剤型合成麻薬)などの新たな薬物の乱用も増え、薬物汚染のさらなる拡大が懸念されています。

取り締まり・水際対策の強化

警察などの関係機関と連携し、薬物の供給源となる密売組織や末端乱用者に対する取り締まりを強化するとともに、病院などでの薬品の適正な管理についても働きかけていきます。

医療体制の充実と社会復帰の推進

県では、精神保健福祉センターで薬物依存者の診察を行っているほか、関係医療機関に対して入院受け入れの協力を求めています。今後も薬物依存者の状況に対応した質の高い医療を目指していきます。また、民間団体とも連携しながら、薬物依存者が社会復帰できる環境を整備していきます。

話し合いで広げる薬物乱用防止の輪

このように県では、「宮城県薬物乱用防止戦略」に基づき、総合的な対策を進めています。何よりも大切なのは県民一人ひとりの、薬物乱用は絶対に「ダメ」という強い意志です。家族や友人、職場、地域の皆さんで薬物乱用防止について話し合いの機会を持つなど、薬物乱用防止に対する意識を高め、健全な地域社会を築きましょう。

主な薬物関係相談窓口

- 県業務課
☎022(211)2653
- 県精神保健福祉センター
☎0229(23)0021
- 県の各保健所
仙台市の各区保健福祉センター

お問い合わせ

☎022(211)2653
業務課

「あやめ草」は、人々のくらしと文化の歴史を刻み、その美しさを伝える。あやめ草の文化の歴史を伝える。あやめ草の文化の歴史を伝える。

あやめ草 足に結ん草鞋の緒

塩竈街道 多賀城市



市川橋遺跡から出土した人面墨書(じんめんぼくしょ)土器
[多賀城市埋蔵文化財調査センターにて展示]

元禄二(一六八九)年五月八日、

仙台を発ち塩竈へと向かった芭蕉は、

塩竈街道の道すがら、

多賀城で「壺の碑」と対面して感涙を流したという。

新暦でいえば六月二十四日。

あやめ咲く季節に芭蕉の足取りを

ゆくりとたどってみたい。



アクセス

- 東北歴史博物館
- 東北本線国府多賀城駅に隣接
- 多賀城碑(壺の碑)
- 東北本線国府多賀城駅から徒歩10分
- 多賀城政庁跡
- 多賀城碑から徒歩10分
- 末の松山、沖の井(沖の石)
- 仙石線多賀城駅から徒歩10分

お問い合わせ/
多賀城市観光協会
☎022(368)1141
史都多賀城観光案内所
☎022(364)6901

観光ボランティアガイドの
利用申し込みはこちらへ
(無料)



道標

「妻社宮道 右 塩釜新道 左塩釜旧道」と記された道標。大正13年建立。
「妻社宮」は陸奥総社宮(むつそうじやのみや)のこと。

「おくのほそ道」の旅は、歌枕の地を訪ねる旅でもあった。中でもここ多賀城での一日は、そのハイライトといえる。

歌枕とは古くから和歌に詠み込まれ、都人が思いをはせてきた名所旧跡。それらを実際に訪ねる困難な旅に出た西行ら先人の足跡を、芭蕉も自らたどろうとしたのだろう。

表題に用いた「あやめ草…」の句は、邪気よけにと、あやめ色の鼻緒の草鞋を手向けてくれた仙台下の俳人の風流心に感激して、折からの菫の季節に引き寄せて詠んだもの。

このころ、仙台藩主伊達綱村が藩内の歌枕や名所旧跡の調査・整備を直々に命じており、陸奥の象徴ともいえる「壺の碑」(多賀城碑)もその一つだった。

千年の昔の栄華を物語る伝説の石碑に対面した芭蕉は、旅の苦勞も忘れて涙を落とすほど感極まり、その足で、末の松山「沖の井(沖の石)」など周辺の歌枕を二息に訪ねた。

訪れる人々に歴史を語り継いでくれるボランティアの方々によって導かれてゆくりとこの界限を歩めば、芭蕉の抱いたイメージと出会うかもしれない。



1 末の松山
古今和歌集の歌にも数多く詠み込まれている、男女の永遠の愛を象徴する歌枕。

沖の井(沖の石)
池の中に奇岩が積み重なり島をなしている。伊達綱村が手厚く保護した。ここを詠んだ小野小町の歌が古今和歌集に収められている。



2

3 多賀城碑(壺の碑)
奈良時代に建立。多賀城の創建と修造について記されている。歌枕「壺の碑」とされ、江戸時代から屋根をかけて手厚く保存されてきた。日本三古碑の一つ。国重要文化財。



3



4

4 多賀城政庁跡
奈良時代の神亀元年(724年)に、陸奥国(むつのに)の国府および鎮守府として創建された「多賀城」は、約900m四方にも及ぶ。政庁跡はその中心で、国特別史跡に指定されている。



5 多賀城跡あやめまつり

250種150万本のあやめ、花菖蒲が咲き誇る。俳句大会、観光ボランティアガイドによる史跡案内のほか、土日には野点(のだて)やステージイベントも行われる。

6月24日(金)~7月3日(日) 会場/多賀城跡あやめ園(国府多賀城駅から徒歩5分) 入場無料
国史都多賀城観光案内所 ☎022(364)6901

東北歴史博物館
宮城・東北の歴史と文化を幅広く展示。映像設備も充実しているほか、「火おこし」など子どもでも楽しめる体験教室も行われる。

開館時間/午前9時30分~午後5時
休館日/毎週月曜日(祝日等を除く)、年末年始(12月29日~1月3日)、ほか臨時休館日あり
常設展観覧料/一般 400円
小・中・高校生 無料
特別展観覧料は別途
☎022(368)0101



6

登米地域
往時の名残を今にとどめる
“悠久の館”不老仙館

登米市東和町にひっそりと佇む不老仙館は、嘉永五(一八五二)年、当時の藩主である伊達十三代慶邦(むねくに)公が北部巡視をする際の宿泊所として建築されたものです。

この建物を、明治三十九年に現在の場所に移築した人物が、地域の事業家であった。佐藤新助(しんすけ)です。当時の農民は度重なる凶作により困窮していました。そこで新助は私財を投じて建物を買い受け、移築工事の工夫として農民を雇うことで、その生活を支えたと伝えられています。

建物は、一部増築されたものの、日常生活に便利なように改築される「てがね」として、旧来の姿のまま保存されています。

また、佐藤家の別荘として活用された

建物には、三笠宮妃殿下のほか、各界の名士が宿泊されました。部屋の中には、長崎の平和記念像製作者・北村西望(せいぼう)の複製や、「荒城の月」の作詞者・土井晩翠(ばんすい)の掛け軸など、貴重な書画や骨董品が数多く展示されています。

今ではお茶会が開かれたり、琴の発表会が行われたりするなど、地域の皆さんの交流の場としても有効に利用されています。

京都東山風の庭園には、たくさんのお花々が咲き乱れ、六月初旬から中旬にかけては、サツキが見ごろとなります。情緒あふれる不老仙館で歴史の趣を感じてみてはいかがでしょうか。

不老仙館
〒02220(42)2002
開館時間：午前10時から午後三時まで
休館日：毎週月曜日 入館料：二百円

武家造りの建築様式を色濃く残す不老仙館

下北
下北
みやぎ

東・西・南・北

どぶろくと農家の家庭料理が
味わえる農家レストラン
「土風里」誕生



国の構造改革特区「鳴子温泉郷ツーリズム特区」に認定されていた鳴子町で、新たに地域の食を楽しめる農家レストラン「土風里」が誕生しました。

鳴子町川渡上川原地区に古民家を移築し、レストランとして再生したもので、古民家の落ち着いたゆたたりとした雰囲気の中、おいしいお米や山の幸をふんだんに使った郷土料理を楽しむことができます。



古民家の雰囲気たっぷりのレストランと高橋さん

「土風里」のお楽しみは、郷土料理のみならず、どぶろくが味わえること。特区の規

制緩和を活用し、県内で第一号のどぶろく製造免許の交付を受けました。

今はなかなか味わえない農山村の食文化としてのどぶろくを、「やさしい味で再現し皆さんに提供したい」と高橋さんは話しています。

農家レストラン「土風里」は、ぜひたくさん時間をゆとりと楽しんでほしいため、一日二十人限定の予約制です。

田園風景の中で家庭料理と「どぶろく」を味わい、鳴子の名湯「あつたけ」をみてはいかがでしょうか。
農家レストラン「土風里」
02220(84)6641

試食会。おしゃべりも思わぬしほが...

気仙沼・本吉地域 志津川町



水車小屋のある親水公園完成
志津川町に「せせらぎ水土里(みどり)公園」が完成しました。直径2.7mの水車が回る水車小屋には、つき白とひき白があり、原料を持ち込めばソバや米をひくことができます(使用時には役場または「さんさん館」に連絡が必要です)。公園の横を流れる小川には、せせらぎに親しめるよう遊歩道が設けられ、小さなため池にはホタルが増えるよう、植物が植えられました。
公園は廃校を活用した体験学習の宿「さんさん館」の近くにあり、農山漁村の体験と併せて、ぜひ遊びに来てください。
志津川町産業振興課
0226(46)2600(代)

石巻地域 石巻市



爽快!北上川丸太イカダ下り
北上川を活用した地域づくりを行うNPO「水と緑の環境フォーラム・ものう」では、丸太のイカダに乗って北上川を下るイベントを開催します。脇谷開門(わきやこうもん)船着場から約7kmを4時間かけて下るもので、イカダの上から北上川の自然を満喫できます。グループお誘い合わせのうえご参加ください。申し込みは希望日の2週間前までです。
なお、6月19日(日)に試乗会(有料)を予定しております。
開催期間:7月16日(土)~8月13日(土)
参加費:中学生以上...2,000円
小学生以下...1,000円
最低実施人数:30人
水と緑の環境フォーラム・ものう(石巻市役所桃生総合支所内)
0225(76)2111

登米地域 登米市



色鮮やかな花の競演「みなみかた花菖蒲まつり」
今年も地域に初夏の訪れを告げる「みなみかた花菖蒲まつり」が開催されます。
広大な回遊式庭園では、見事に咲き誇る80万本の花菖蒲を愛でながら散策を楽しめます。
6月26日(日)には浴衣姿のモデルを招いて撮影会が行われるほか、各週末にはさまざまなイベントも行われる予定です。
深い紫やさわやかな白など清楚な色合いの花菖蒲は、私たちの気持ちを穏やかにしてくれます。
ぜひ皆さんでお越しください。
期間:6月17日(金)~7月6日(水)
場所:花菖蒲の郷公園
入園料:無料
登米市南方総合支所
0220(58)2112

栗原地域 栗原市



栗駒山麓湯めぐり回廊紹介キャンペーン開催
雄大な自然を満喫できると評判の高い栗駒山麓。ここはランブの宿がたつた秘湯や滝がまると温泉という天然露天風呂、足湯も楽しめる高原の名湯など、知る人ぞ知る温泉が集まる湯めぐりの名所でもあります。
栗駒山麓の岩手・宮城・秋田の3県では、この「栗駒山麓湯めぐり回廊」を詳しく紹介するキャンペーンを仙台で開催します。ご家族皆さんでお越しください。
日時:6月25日(土)午前9時45分~午後8時、26日(日)午前10時~午後6時
場所:JR仙台駅2階コンコース
内容:栗駒山麓の温泉紹介クイズ、郷土芸能、地場産品販売など
栗原地方振興事務所
0228(22)2490

大崎地域 管内市町



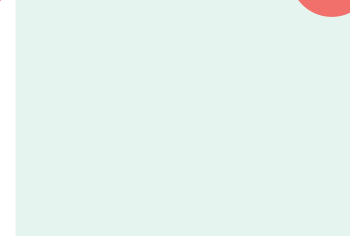
「おおさき山がっこ情報バンク」~森へ行こう 発行~
大崎の豊富な森林資源は、子どもたちが森林の役割や資源の循環に関する学習を行う上で絶好の教材です。
古川地方振興事務所では、このような地域資源を有効に活用してもらうため、さまざまな情報を整理して提供する「おおさき山がっこ情報バンク」を設置しています。
たとえば、森林に詳しい指導者を登録したり、体験プログラムなどを用意したりするなど、森林・林業教育活動を支援しています。
これらの情報を掲載した「森へ行こう」も発行しています。ぜひ、ご活用ください。
古川地方振興事務所
0229(91)0719

仙台地域 富谷町



安全、安心にこだわっています 富谷町のブルーベリー
「富谷町ブルーベリー生産組合」は生のブルーベリーのほか、ジャムなどの加工品を全国に「ゆうパック」で販売しています。
生産者全員が「農業不使用・化学肥料削減」という県の認証を受け栽培を行っており、安全な健康食品として自信を持ってお届けしています。
ぜひ富谷町のブルーベリーをご賞味ください。
また、7月上旬ごろから新鮮なブルーベリーを摘み取りできる農園も開園します。ご家族皆さんでお越しください。
JAあさひな富谷支店
022(358)3131
富谷町経済振興課
022(358)0524

仙南地域 管内市町



「みやぎ蔵王三十六景ナビゲートマップ」完成!
昨年3月に選定した「みやぎ蔵王三十六景」。
これまで、シンボルマークを作成したり、選定地域へ看板を設置したりしてその魅力をアピールしてきました。
そして、今回「三十六景」への行き方やそれぞれの魅力、さらに、農産物直売所や農家レストランの位置を示した「みやぎ蔵王三十六景ナビゲートマップ」が完成しました。仙南の魅力がたくさん詰まったこのマップは、仙南地域の観光案内所や旅館・ホテル、主要な観光施設などで配布しています。仙南の魅力発見に、ぜひご活用ください。
大河原地方振興事務所
0224(53)3111

